

電書連 EPUB 3 制作ガイド 更新履歴

ver.1.1.4

2025/10/24

[2025/10/24 ver.1.1.4]

◎概要

今回の更新は、EPUB 3.3 の公開、また日本電子書籍出版社協会（電書協）がデジタル出版者連盟（電書連）となったことを受けて、ガイド内容を再検討した結果を反映したものです。

電書連への変更と EPUB 3.3 にて変更された内容に合わせて、本ガイドならびに別紙、サンプルファイルを修正しました。ただし、EPUB Accessibility 仕様への対応は含まれていません。

また、更新履歴を本体から分離しました。

ガイド本体

■P.3 / 修正

目的の文言を修正し、EPUB 3 の参照情報を追加

【変更前】

当ガイドは、電書協加盟社のための、一般書のEPUB 3を制作する際のガイドです。

EPUB 3を制作する際には、いくつかの方法があり、その結果、電書協加盟社が、EPUB 3の制作を躊躇しているのが現状です。また、リーディングシステム（ビューワー）開発メーカーも、出版社の意向をわかりかねていると思われます。よって、電書協加盟社のためのひとつのガイドとして、EPUB 3の制作の方向を示すことで、こうした問題を解消するために作成しました。

【変更後】

本ガイドは、デジタル出版者連盟（電書連、2021年に日本電子書籍出版社協会およびデジタルコミック協議会が合併し、2022年に名称変更）加盟社のための、一般書の EPUB 3 を制作する際のガイドです。

EPUB 3 を制作する際には、いくつかの方法があり、その結果、電書連加盟社が、EPUB 3 の制作を躊躇しているのが現状です。また、リーディングシステム（ビューワー、以下 RS）開発メーカーも、出版社の意向をわかりかねていると思われます。よって、電書連加盟社のためのひとつのガイドとして、EPUB 3 の制作の方向を示すことで、こうした問題を解消するために作成しました。

なお、本ガイドでは特に断りのない限り、EPUB 3 とは 2023 年に W3C 勧告（国際標準規格化）となった EPUB 3.3 を指します。

W3C EPUB 3.3

<https://www.w3.org/TR/epub-33/>

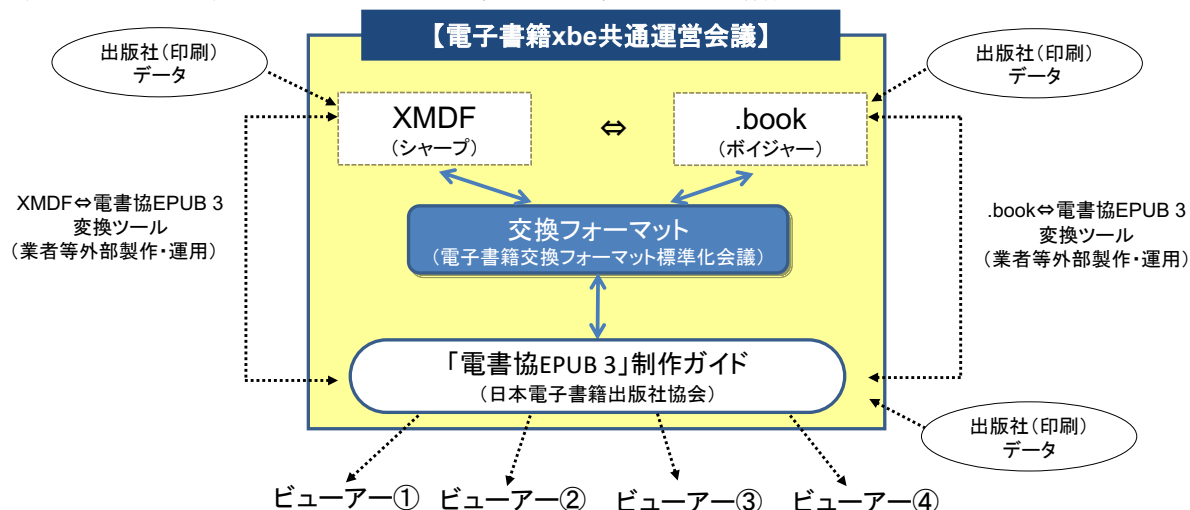
■P.3 / 削除

目的より、xbr:共通運営会議と電子書籍交換フォーマット標準化会議に関する記述を削除

【削除箇所】

当ガイドは、新たなEPUB 3を作成するためだけのものではありません。

電書協加盟社は、これまで、数万点のXMDF、.bookを作ってきました。これらのコンテンツを活用させるべく、xbe共通運営会議（下図参照）を立ち上げました。この会議では三省懇談会を経て、総務省 平成22年度「新ICT利活用サービス創出支援事業（電子出版環境の整備）」の一事業として、電書協が受託・仕様策定した電子書籍交換フォーマットを介したEPUB 3への活用も視野に入れ、当ガイドを作成しました



■P.4 / 削除

Radium Foundationの説明における「IDPF の提携団体である」を削除

【削除箇所】

IDPF の提携団体である

■P.5 / 修正

サンプルファイルと別紙のファイル名表記を変更

【変更前】

「book-template.epub」および「fixedlayout-template.epub」

「ebpaj-sample.epub」

「CSS 機能一覧.pdf」

「参考情報.pdf」

「今後の RS に期待する項目.pdf」

【変更後】

「book-template_YYYY-MM-DD.epub」および「fixedlayout-template_YYYY-MM-DD.epub」

「dpfj-sample_YYYY-MM-DD.epub」

「CSS機能一覧_YYYY-MM-DD.pdf」

「参考情報_YYYY-MM-DD.pdf」

「今後のRSに期待する項目_YYYY-MM-DD.pdf」

■P.6 / 修正

接頭辞の宣言に「dpfj: <https://www.dpfj.or.jp/>」を追加

※以降、OPF ファイル内の接頭辞ならびにバージョン表記箇所は同様に修正

【変更前】

```
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.3</meta>
```

※接頭辞の宣言として package 要素内の prefix 属性に「ebpaj: <http://www.ebpaj.jp/>」を記載

【変更後】

```
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.4</meta>
```

```
<meta property="dpfj:guide-version">1.1.4</meta>
```

※接頭辞の宣言として package 要素内の prefix 属性に「ebpaj: <http://www.ebpaj.jp/>」および
「dpfj: <https://www.dpfj.or.jp/>」を記載

■P.7 / 削除

「file-as」で指定される、整列用カナ、著作者の表示順序を削除

【削除箇所】

著作者の表示順序の指定は不要となり、「file-as」で指定した整列用カナは、読者に対しては表示されないことを想定する。

■P.7 / 変更

ナビゲーション文書の優先的解釈について、表記を簡素化

【変更前】

ナビゲーション文書と ncx ファイルが同梱されていた場合、ncx ではなく、ナビゲーション文書を優先的に解釈し、ncx は適切に無視するものとする。

【変更後】

ナビゲーション文書と ncx ファイルが同梱されていた場合、ナビゲーション文書を優先的に解釈するものとする。

■P.10 / 変更

Unicode Vertical Text Layout の情報を最新化

【変更前】

「Unicode Technical Report #50 Unicode Vertical Text Layout (UTR#50) Revision 13」

<http://www.unicode.org/reports/tr50/>

【変更後】

「Unicode® Standard Annex #50 Unicode Vertical Text Layout」

<https://www.unicode.org/reports/tr50/>

■P.10 / 変更

CSS Writing Modes Level 3 の情報を最新化

【変更前】

画像及び正立すべき文字は「CSS Writing Modes Level 3 W3C Candidate Recommendation, 20 March 2014」の「4.2 Text Baselines」で「The central baseline」として示された表示（中央揃え）になるものと想定する。

<http://www.w3.org/TR/2014/CR-css-writing-modes-3-20140320/#central-baseline>

【変更後】

画像及び正立すべき文字は「CSS Writing Modes Level 3 W3C Recommendation, 10 December 2019」の「4.2 Text Baselines」で「The central baseline」として示された表示（中央揃え）になるものと想定する。

<https://www.w3.org/TR/css-writing-modes-3/#central-baseline>

■P.11 / 変更

画像の種類に WebP 形式を追加

【変更前】

JPEG、PNG、GIF が利用可能であるものとする。

【変更後】

JPEG、PNG、GIF、WebP が利用可能であるものとする。

※ WebP 形式は EPUB 3.3 より使用可能となったため、RS 側の対応を期待する。ただし、利用に際しては配信先または RS が対応していることを確認すること。

■P.13 / 変更

EPUB 3 バージョン指定を削除

【変更前】

ナビゲーション文書中では、EPUB Content Documents 3.0.1 の記載にあるように、リスト要素にはリスト番号を表示しないこと。

【変更後】

ナビゲーション文書中では、EPUB Content Documents の記載にあるように、リスト要素にはリスト番号を表示しないこと。

■P.16 / 削除

RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティを削除

【削除箇所】

「■本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」項目一式

■P.19 / 変更

EPUBCheck についての情報を最新化

【変更前】

IDPF/epubcheck · GitHub

<https://github.com/IDPF/epubcheck/>

iTunes のように、読み込んだ EPUB ファイル内に独自ファイルを埋め込む（そのデータは再度 epubcheck をかけるとエラーとなる）ような、ファイルの改変をしてしまう RS にご注意ください。監修時にはコピーを用いるなどして、一度他の RS に読み込ませたものを納品してしまわないことを推奨します。

【変更後】

W3C/epubcheck · GitHub

<https://github.com/w3c/epubcheck>

■P.24 / 削除

「file-as」で指定される、整列用カナ、著作者の表示順序を削除

【削除箇所】

著作者の表示順序の指定は不要となり、「file-as」で指定した整列用カナは、読者に対しては表示されないことを想定する。

■P.25、P.41 / 削除

「file-as」で指定される、整列用カナおよび順序指定を削除

【削除箇所】

```
<meta refines="#title" property="file-as">セイレッツヨウサクヒンメイカナ01</meta>
<meta refines="#creator01" property="file-as">セイレッツヨウチョサクシャメイカナ01</meta>
<meta refines="#creator01" property="display-seq">1</meta>
<meta refines="#creator02" property="file-as">セイレッツヨウチョサクシャメイカナ02</meta>
<meta refines="#creator02" property="display-seq">2</meta>
<meta refines="#publisher" property="file-as">セイレッツヨウシュツパンシャメイカナ</meta>
```

■P.42 / 変更

参考情報にあった「固定レイアウト型の fallback と基準サイズ」の内容を追記

参考情報

■P.3 - P.7 / 変更

「OPF でのレンダリングモードの指定について」の内容を修正

「EPUB 3.0.1」を「EPUB 3」に修正

今後の RS に期待する項目

■P.1 / 変更

「縦組み時の文字の向き指定」の内容を修正

■P.4 / 変更

「その他、優先して EPUB 3.0.1 範囲内で対応することが望まれる値やプロパティ等」および「優先して EPUB 仕様に CSS3 より導入することが望まれる値やプロパティ等」を統合し修正

サンプルファイル

dpfj-sample
item/standard.opf

【修正箇所】

```
<package
  xmlns="http://www.idpf.org/2007/opf"
  version="3.0"
  xml:lang="ja"
  unique-identifier="unique-id"
  prefix="ebpaj: http://www.ebpaj.jp/
    dpfj: https://www.dpfj.or.jp/"
>
<dc:publisher id="publisher">デジタル出版者連盟</dc:publisher>
<dc:identifier id="unique-id">urn:uuid:cdbc8207-4794-4240-9356-efd999ef61b6</dc:identifier>
<meta property="dcterms:modified">2025-06-01T00:00:00Z</meta>
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.4</meta>
<meta property="dpfj:guide-version">1.1.4</meta>
```

【削除箇所】

```
<meta refines="#creator01" property="file-as">アクタガワリュウノスケ</meta>
<meta refines="#creator01" property="display-seq">1</meta>
<meta refines="#publisher" property="file-as">ニホンデンシシュツパンシヤキョウカイ</meta>
```

dpfj-sample
item/style/style-standard.css

【修正箇所】

「外側の余白（マージン）指定」および「内側の余白（パディング）指定」にカンマを追加

book-template
item/standard.opf

【修正箇所】

```
<package
  xmlns="http://www.idpf.org/2007/opf"
  version="3.0"
  xml:lang="ja"
  unique-identifier="unique-id"
  prefix="ebpaj: http://www.ebpaj.jp/
    dpfj: https://www.dpfj.or.jp/"
>
<dc:identifier id="unique-id">urn:uuid:c1215609-6ed3-45be-b0a0-b337d4594597</dc:identifier>
<meta property="dcterms:modified">2025-06-01T00:00:00Z</meta>
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.4</meta>
<meta property="dpfj:guide-version">1.1.4</meta>
```

【削除箇所】

```
<meta refines="#title" property="file-as">セイレッツヨウサクヒンメイカナ01</meta>
<meta refines="#creator01" property="file-as">セイレッツヨウチュウサクシャメイカナ01</meta>
<meta refines="#creator01" property="display-seq">1</meta>
<meta refines="#creator02" property="file-as">セイレッツヨウチュウサクシャメイカナ02</meta>
<meta refines="#creator02" property="display-seq">2</meta>
```

book-template
item/style/style-standard.css

【修正箇所】

「外側の余白（マージン）指定」および「内側の余白（パディング）指定」にカンマを追加

fixedlayout-template
item/standard.opf

【修正箇所】

```
<package
  xmlns="http://www.idpf.org/2007/opf"
  version="3.0"
  xml:lang="ja"
  unique-identifier="unique-id"
  prefix="rendition: http://www.idpf.org/vocab/rendition/#
    ebpaj: http://www.ebpaj.jp/
    dpfj: https://www.dpfj.or.jp/"
>
<dc:identifier id="unique-id">urn:uuid:78962f36-6855-4455-8c90-ae787e99cc2b</dc:identifier>
<meta property="dcterms:modified">2025-06-01T00:00:00Z</meta>
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.4</meta>
<meta property="dpfj:guide-version">1.1.4</meta>
```

【削除箇所】

```
<meta refines="#title" property="file-as">セイレッツヨウサクヒンメイカナ01</meta>
<meta refines="#creator01" property="file-as">セイレッツヨウチヨサクシャメイカナ01</meta>
<meta refines="#creator01" property="display-seq">1</meta>
<meta refines="#creator02" property="file-as">セイレッツヨウチヨサクシャメイカナ02</meta>
<meta refines="#creator02" property="display-seq">2</meta>
<meta refines="#publisher" property="file-as">セイレッツヨウシュツパンシャメイカナ</meta>
```

更新履歴

[2015/01/01 ver.1.1.3]

ガイド本体

■P.1 / 追加

【変更前】2014/11/01

【変更後】2014/11/01 (2015/01/01 更新)

■P.17 / 削除

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」

→「【HTML】」

→「テキストレベルの意味づけ」

【変更後】重複していたため、以下をひとつ削除

rp要素

■P.53 / 削除

「書式一覧」

→「■強調・打ち消し」

→「・傍線」

→「【CSS class】」

【変更後】サンプル CSS 中に定義がないため、以下を削除

class="decoration-none" : 傍線、打ち消し線のクリア

■P.53 / 削除

「書式一覧」

→「■強調・打ち消し」

→「・打ち消し線」

→「【CSS class】」

【変更後】サンプル CSS 中に定義がないため、以下を削除

class="decoration-none" : 傍線、打ち消し線のクリア

■P.55 / 追加 (記載漏れ追加)

「書式一覧」

→「■画像」

→「・画像のサイズ指定」

→「【CSS class】」

【変更後】以下の一文を追加

※その他、auto、none、0 など、利用可能な値は後述の「■ボックスの扱い」→「サイズ」の項を参照

■P.60 / 追加（記載漏れ追加）

「書式一覧」

→「■字下げ・インデント」

→「class 指定による字下げ」

→「【CSS class】」

【変更前】class="start-*em"

【変更後】class="start-*em" ("start-0" も可)

■P.60 / 追加（記載漏れ追加）

「書式一覧」

→「■字下げ・インデント」

→「字上げ」

→「【CSS class】」

【変更前】class="end-*em"

【変更後】class="end-*em" ("end-0" も可)

■P.61 / 追加（記載漏れ追加）

「書式一覧」

→「■字下げ・インデント」

→「行頭インデント」

→「【CSS class】」

【変更前】class="indent-*em"

【変更後】class="indent-*em" ("indent-0" も可)

■P.61 / 追加（記載漏れ追加）

「書式一覧」

→「■字下げ・インデント」

→「突き出しインデント（ぶら下がりインデント）」

→「【CSS class】」

【変更前】class="h-indent-*em"

【変更後】class="h-indent-*em" ("h-indent-0" も可)

■P.63 / 追加（記載漏れ追加）

「書式一覧」

→「■行や文字の間隔」

→「文字間」

→「【CSS class】」

【変更前】class="lspacing-*em" : 文字間を 文字数で指定

【変更後】class="lspacing-*em" : 文字間を 文字数で指定 ("lspacing-0" も可)

■P.68 / 誤植修正・削除

「書式一覧」

→「■ボックスの扱い」

→「・内側の余白（パディング）」

CSS2.1 仕様及びサンプル CSS 中に定義がないため、auto 関連を削除

「マージン」を「パディング」に修正

【変更前】

[値の詳細]

p-auto / p-0 / p-***per / p-*em : 四方のマージンを指定 (auto、ゼロ、%指定、文字数指定)

p-top-auto / p-top-0 / p-top-***per / p-top-*em : 画面上部のマージンを指定
 p-bottom-auto / p-bottom-0 / p-bottom-***per / p-bottom-*em : 画面下部のマージンを指定
 p-right-auto / p-right-0 / p-right-***per / p-right-*em : 画面右部のマージンを指定
 p-left-auto / p-left-0 / p-left-***per / p-left-*em : 画面左部のマージンを指定

p-start-auto / p-start-0 / p-start-***per / p-start-*em : 行頭のマージンを指定
 p-end-auto / p-end-0 / p-end-***per / p-end-*em : 行末のマージンを指定
 p-before-auto / p-before-0 / p-before-***per / p-before-*em : 行前方のマージンを指定
 p-after-auto / p-after-0 / p-after-***per / p-after-*em : 行後方のマージンを指定

【変更後】

[値の詳細]

p-0 / p-***per / p-*em : 四方のパディングを指定 (ゼロ、%指定、文字数指定)

p-top-0 / p-top-***per / p-top-*em : 画面上部のパディングを指定
 p-bottom-0 / p-bottom-***per / p-bottom-*em : 画面下部のパディングを指定
 p-right-0 / p-right-***per / p-right-*em : 画面右部のパディングを指定
 p-left-0 / p-left-***per / p-left-*em : 画面左部のパディングを指定

p-start-0 / p-start-***per / p-start-*em : 行頭のパディングを指定
 p-end-0 / p-end-***per / p-end-*em : 行末のパディングを指定
 p-before-0 / p-before-***per / p-before-*em : 行前方のパディングを指定
 p-after-0 / p-after-***per / p-after-*em : 行後方のパディングを指定

■P.69 / 削除

「書式一覧」

→「■罫線」

→「・囲み罫」

→「【CSS class】」

【変更後】サンプル CSS 中に定義がないため、以下を削除

class="k-clear" : 罫線のクリア

■P.70 / 削除

「書式一覧」

→「■罫線」

→「・罫線」

→「【CSS class】」

【変更後】サンプル CSS 中に定義がないため、以下を削除
`class="k-clear"` : 罫線のクリア

 CSS機能一覧.pdf

■ 標題 / 追加

【変更前】CSS 機能一覧 (電書協ガイド ver.1.1.3)

【変更後】CSS 機能一覧 (電書協ガイド ver.1.1.3 [2015/01/01 更新])

■ 文字装飾 / 表記調整

→ 「文字サイズ」

→ 「css」

【変更前】`*[em|%];`

【変更後】`[*em|*%];`

■ 圏点・傍点 / 誤植修正

→ 「二重円」 (`.em-double-circle`)

→ 「使用例」

【変更前】`<p>テキスト傍点テキスト</p>`

【変更後】`<p>テキスト傍点テキスト</p>`

■ 圏点・傍点 / 誤植修正

→ 「二重円 (白抜き)」 (`.em-double-circle-open`)

→ 「使用例」

【変更前】`<p>テキスト傍点テキスト</p>`

【変更後】`<p>テキスト傍点テキスト</p>`

■ 字下げ・インデント / 追加 (記載漏れ追加)

→ 「class or element」

同区分内の各項目にそれぞれ下記 class を追加

【変更後】

「字下げ」 : `.start-0`

「字上げ」 : `.end-0`

「行頭インデント」 : `.indent-0`

「突き出しインデント」 : `.h-indent-0`

■字下げ・インデント / 変更（記載漏れ追加）

→「css」

下記項目の「css」を変更

「字下げ」

「字上げ」

「行頭インデント」

【変更前】 *em;

【変更後】 [0|*em];

■字下げ・インデント / 変更（記載漏れ追加）

→「突き出しインデント（ぶら下がりインデント）」

→「css」

【変更前】

text-indent: -*em;

【横組み】 padding-left: *em;

【縦組み】 padding-top: *em

【変更後】

text-indent: [0|-*em];

【横組み】 padding-left: [0|*em];

【縦組み】 padding-top: [0|*em];

■行や文字の間隔 / 変更（記載漏れ追加）

→「行高」

→「css」

【変更前】 *;

【変更後】 [normal|*];

■行や文字の間隔 / 追加（記載漏れ追加）

→「文字間」

→「css」

【変更後】 下記を追加

.lspacing-0

■行や文字の間隔 / 変更（記載漏れ追加）

→「文字間」

→「css」

【変更前】 *[em];

【変更後】 [normal|0|*em];

■外側の余白（マージン） / 追加（記載漏れ追加）

→ 「class or element」

同区分内の各項目にそれぞれ下記 class を追加

【変更後】

「四方」 : .m-auto
「画面上側」 : .m-top-auto
「画面左側」 : .m-left-auto
「画面右側」 : .m-right-auto
「画面下側」 : .m-bottom-auto
「行頭」 : .m-start-auto
「行末」 : .m-end-auto
「行前方」 : .m-before-auto
「行後方」 : .m-after-auto

■外側の余白（マージン） / 変更（記載漏れ追加）

→ 「css」

同区分内すべての項目の「css」を変更

【変更前】 *[em|%];

【変更後】 [auto|0|*em|%];

■内側の余白（パディング） / 変更（記載漏れ追加）

→ 「css」

同区分内すべての項目の「css」を変更

【変更前】 *[em|%];

【変更後】 [0|*em|%];

■内側の余白（パディング） / 誤植修正

→ 「画面下側」

→ 「class or element」

【変更前】

.p-bottop-0
.p-bottop-*em
.p-bottop-***per

【変更後】

.p-bottom-0
.p-bottom-*em
.p-bottom-***per

■内側の余白（パディング） / 誤植修正

→ 「画面下側」

→ 「使用例」

【変更前】

```
<div class="p-bottop-030per">
<p>テキスト</p>
</div>
```

【変更後】

```
<div class="p-bottom-030per">
<p>テキスト</p>
</div>
```

■サイズ / 変更（記載漏れ追加）

→「css」

下記項目の「css」をすべて変更

「高さ」

「幅」

「行長方向のサイズ」

「行幅方向のサイズ」

【変更前】 *em|%];

【変更後】 [auto|*em|*%];

■サイズ / 変更（記載漏れ追加）

→「css」

下記項目の「css」をすべて変更

「高さの最大値」

「幅の最大値」

「行長方向の最大サイズ」

「行幅方向の最大サイズ」

【変更前】 *em|%];

【変更後】 [none|*em|*%];

■サイズ / 誤植修正

→「行長方向のサイズ」

→「使用例」

【変更前】 <p></p>

【変更後】 <p></p>

■罫線 / 変更（記載漏れ追加）

→「線幅」

→「css」

【変更前】 *`[px]`;

【変更後】 `[0|*px|thin|medium|thick]`;

■ブロック要素の位置揃え / 変更

→「使用例」

同区分内すべての項目の「使用例」をガイド本体にあわせ変更

※下記「***」には各項目の `class` 名末尾の文字列（「left」等）が入る

※下記「XXX」には、それぞれ下記の文字列が入る

【横組み】の項目：`width`

【縦組み】の項目：`height`

それ以外の項目 ：`measure`

【変更前】

```
<!-- block only -->
<div class="block-align-***">
<div class="XXX-4em">
<p>テキスト</p>
</div>
</div>
```

【変更後】

```
<!-- block only -->
<div class="XXX-4em block-align-***">
<p>テキスト</p>
</div>
```

■色指定 / 誤植修正

→「1 C用文字色」

→「使用例」

【変更前】 `<p>テキスト</p>`

【変更後】 `<p>テキスト</p>`

■色指定 / 誤植修正

→「基本文字色」

→「使用例」

【変更前】 `<p>テキスト</p>`

【変更後】 `<p>テキスト</p>`

更新履歴

[2014/11/01 ver.1.1.3]

◎概要

今回の更新は、EPUB 3.0.1 公開を受け、ガイド内容を再検討した結果を反映したものです。
特に重要な更新内容として、以下の項目が含まれています。

- 【1】EPUB 3.0.1 で変更となった仕様の反映
- 【2】Unicode の日本語の文字の向きが決定したことに伴う、仕様参照先の変更
- 【3】RS や WEB ブラウザの対応状況を考慮した、リンクと注釈の指定方法の簡素化
- 【4】本ガイド非推奨項目の【参考情報】として挙げた「縦組み左右中央ページ」の挿入方法の変更
- 【5】付録・参考情報の追加
- 【6】その他（記述ミス訂正や、現状に即した表現・記述の一部修正等）

これまで制作されたものとの互換性を担保する意味もあり、制作の際に従来と作り方を変える必要がないことを原則として、内容の更新をしています。

ただし【2】については、一部の文字の「縦組みにおける無指定時の向き」が変更となりましたので、注意してください。今後作られるフォントの向きなども、国際標準である Unicode の決定に従うことが予想されますので、将来的な仕様の乱立による制作への負担を避けるためにも、今回の変更に対応されることを推奨します。

本ガイドで利用を想定するとした文字集合「JIS X 0213:2004」のうち、今回の変更で向きが変わるのは以下の 21 字です。

Unicode 字 旧 新 要注意

U+309D	ㄣ	Tu → U	
U+309E	ㄤ	Tu → U	
U+2018	‘	T → R	
U+2019	’	T → R	
U+00B1	±	R → U	*
U+00D7	×	R → U	
U+00F7	÷	R → U	
U+221E	∞	R → U	
U+2234	∴	R → U	*
U+2235	∵	R → U	*
U+212B	℔	U → R	*
U+00B6	¶	U → R	*
U+2423	ㄣ	U → R	
U+23CE	ㄣ	U → R	
U+02E5	ㄣ	U → R	
U+02E6	ㄣ	U → R	
U+02E7	ㄣ	U → R	
U+02E8	ㄣ	U → R	
U+02E9	ㄣ	U → R	
U+FF0D	—	Tu → R	
U+FF1F	?	U → Tu	

このうち、*印をつけた 5 文字以外は、国内の主立った RS 間で向きが統一されていないため、制作の際に、すでに制作者によって文字の向き対策が施されていた可能性が高いと思われます。

これまで上記の文字を無指定で利用していた場合、R（横転）が U（正立）に変わった文字については、R のままの表示を維持するために、外字画像化することを推奨します。

U または Tu が R に変わった文字には、縦中横を利用した正立の指定（.tcy あるいは .upright-1）を追加するのが安全です。

Tu と U の間の変更については、RS 次第ではありますが、現状では、そのまま問題となることはないと考えられます。

T から R への変更があった 2 文字に関しては、まだ RS 間で向きが揃っていないので、必要があれば外字画像化してください。

【3】の注釈指定については、従来の方法もけっして間違いではないので、今後も利用は可能です。

standard.css ファイルにも、従来の注釈用の class（.key と .ref）はそのまま残されています（CSS 機能一覧.xls からは削除しました）。

ただ、制作者が作品ごとに追記・変更して利用することを想定した book-style.css では、注釈指定の上書き用 class が、新たな注釈指定用の class に置き換えられていますので、必要があれば同ファイルに旧来の指定を追記するなどしてご利用ください。

◎主な更新内容

【1】EPUB 3.0.1 で変更となった仕様の反映

- EPUB 3.0.1 対応とその補足として、以下の項目を変更しました。
 - EPUB 3.0 を参照していた箇所を、EPUB 3.0.1 への参照に変更
 - 縦中横の CSS に「`-epub-text-combine-horizontal: all;`」と「`text-combine-upright: all;`」を追加あわせて「ルビ文字列に含むことができる表現」として「`-epub-text-combine-horizontal`」を追加
 - 傍線の位置指定のための CSS を「`-epub-text-underline-position`」に変更
 - 「本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」に、CSS3 のセクタを追加
 - 「`-epub-text-orientation: rotate-right;`」が廃止されたことに伴い、従来との互換性を維持するために、同指定でも「`-epub-text-orientation: sideways;`」と同等の動作をするものとする旨を追記

【2】Unicode の日本語の文字の向きが決定したことに伴う、仕様参照先の変更

- Unicode Consortium の決定に従い、「縦組み時の文字の向き」の参照先を「UTR#50 Revision 13」に変更しました。
あわせて「書式一覧」→「■特殊な文字の指定」→「・(C)表記」の項目を削除しています。

【3】RS や WEB ブラウザの対応状況を考慮した、リンクと注釈の指定方法の簡素化

- 制作時のブラウザ確認での WebKit のバグ対策のため煩雑になっていたリンクと注釈指定を、簡潔なものに改めました。従来のスタイルと重複して意図せぬ表示にならないよう、クラス名も変更しています。
なお、旧来の注釈記号用のクラスは、`style-standard.css` から削除されず残されています（`book-style.css` からは削除されました）。
あわせて、注釈への「`epub:type`」の利用について、【参考情報】を追加しました。
- 通常のリンク指定に加え、色や下線他のスタイルを変更した特殊なリンク指定を追加したい場合を想定して、`book-style.css` の作品別カスタマイズ領域に、特殊リンク指定の記入場所を追加しました。
とりあえず3種まで登録可能としてありますが、必要に応じて数を追加するなどしてご利用ください。

【4】本ガイド非推奨項目の【参考情報】として挙げた「縦組み左右中央ページ」の挿入方法の変更

- 「`<html>`」と「`<body>`」に指定された組み方向が異なるのは危険」との外部からの指摘を受け、本ガイド非推奨項目の【参考情報】として挙げた「縦組み左右中央ページ」の挿入方法を変更しました。

【5】付録・参考情報の追加

- 制作の際に前提として想定する RS の挙動と、近い将来的な要望、及び EPUB 3.0.1 で新規に導入されたばかりで、まだ RS の対応が進んでいない項目などに関する参考情報とを分離し、後者2つをそれぞれ別紙にまとめました。
詳細は「参考情報.pdf」と「今後の RS に期待する項目.pdf」をご覧ください。

【6】その他（記述ミス訂正や、現状に即した表現・記述の一部修正等）

- ・リーディングシステムに期待する動作として、利用可能と想定する文字集合である「JIS X 0213:2004」において、Unicode ではサロゲートペア領域に含まれる文字も含むことを明記しました。
- ・外字画像や縦中横を含む文字列への文字間指定について、現時点では推奨しない旨を記載しました。
- ・style-check.css から、WebKit バグ対策関連のクラスを削除しました。
- ・style-advance.css 内で、二重線の組方向混在時の指定を修正しました。
- ・style-reset.css の body と style-standard.css の .align-*** に指定していた -epub-text-align-last 指定を削除しました。

元々は、縦組みできちんとジャスティフィケーションしない RS があったこと、また最終行までジャスティフィケーションしてしまう RS の存在やその懸念から、電書協ガイドの CSS では念のため -epub-text-align-last に left を指定していましたが、昨今ではそのような RS も無くなったようなので、今回の変更を行いました。あわせて -webkit-text-align-last も削除しています。

なお、CSS3 の text-align-last 指定は、テキストの最終行の text-align のみ変更するプロパティですが、現在の仕様によると、指定されたテキストが 1 行しかなく、行の折り返しが発生しないような場合は、text-align より優先されることになっています。

従来の電書協ガイドの CSS セットの場合は、style-reset.css で body に { -epub-text-align-last: left; } を指定しているため、新規に独自 class を作って text-align を指定しても、1 行のみで折り返しが発生しないときは、text-align にかかわらず左寄せとなってしまうことが危惧されています。
※電書協ガイド CSS の .align-center や .align-right には { -epub-text-align: auto; } が指定されているので、これらのみ利用している場合には問題はありません。

text-align-last の現時点での最新の仕様では、このプロパティは text-align が justify のときの最終行の位置について述べた指定である旨が明記されていますが、本仕様はまだ Working Draft 段階であり、この先も変更される可能性があります。また、そもそも EPUB 3.0.1 の -epub-text-align-last の参照先は、[CSS3Text-20110412] 版なので、この記述は含まれていません。

text-align の問題で従来のデータを修正する必要がある場合、style-reset.css と style-standard.css を、そのまま最新のものと入れ替えてください。それらのファイルを直接書き換えて利用していたのでないかぎり、上書きすることで他のスタイル指定に悪い影響が出ることはないはずです。 ※傍線、縦中横、文字の向きの指定は、最新のものに切り替わります。

- ・IDPF/epubcheck の参照先を変更しました。
- ・HTML5 と CSS3 の変更に伴い、以下の項目を変更しました。
 - ・HTML5 で廃止された hgroup に関する記述をすべて削除
 - ・「RS による対応を想定する HTML 要素と CSS プロパティ」において、CSS3 で「CSS Text Level 3」から「CSS Text Decoration Level 3」に移動したプロパティの表記箇所を同様に移動
 - ・「本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」に、HTML5 で追加された新たなルビ関連要素を追加
- ・RS への「@page」の採用が進まないこと、また EPUB 3.0.1 における部分 FL の正式採用により、従来求めていた表現が代替可能であることから、「@page」を「本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」とし、その他の関連する記述を削除しました。

- ・ガイドのバージョンが 1.1.2 から 1.1.3 になりました。
あわせて、CSS ファイルのバージョン変更、及びサンプルコード内のバージョン表記と、更新日付の変更をしています。
- ・その他、誤表記や表現の一部を修正

更新内容の詳細は、下記の各項目をご確認ください。

◎詳細

ガイド本体

■P.3 / 変更

「概要」

【変更前】

そのため本ガイドでは、IDPF が提供している Radium の挙動等を参考にしつつ、

【変更後】

そのため本ガイドでは、IDPF の提携団体である Radium Foundation が提供している Radium の挙動等を参考にしつつ、

■P.6 / 追加

「このガイドについて」

【変更後】「■別紙について」として「参考情報.pdf」と「今後の RS に期待する項目.pdf」の説明を追加

■P.7 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

【変更前】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.2</meta>

【変更後】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.3</meta>

■P.7 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

【変更前】特筆しないかぎり、IDPF が配布する

【変更後】特筆しないかぎり、Radium Foundation が配布する

■P.7 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■文書ファイルの基本」

→「ソース中の空白、改行、コメント等の扱い」

【変更前】Radium と同程度の厳密さと自由度を担保する。

【変更後】Web 標準をサポートした代表的なモダンブラウザと同程度の厳密さと自由度を担保する。

■P.9 / 追加

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■スタイルシートの基本」

→「「-epub-」接頭辞付き CSS プロパティの優先的解釈」

【変更後】末尾に以下の文章を追加

なお、「-epub-」接頭辞が利用可能なプロパティは、EPUB 3.0.1 仕様中に記載されたものだけである。ブラウザなどで「-webkit-」接頭辞で利用可能なプロパティを、単純に「-epub-」接頭辞に置き換えても意味がないので、利用者は注意すること。

■P.10 / 移動

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■スタイルシートの基本」

→「メディアクエリ指定に非対応の場合の適切な無視」

【変更後】以下の部分を別紙「今後の RS に期待する項目.pdf」に移動

スマートフォンやタブレットといった端末においては、縦長画面と横長画面の切り替えが標準で備わっていること、また画面の高さによって画面内に表示できる内容が大きく変わってしまうことなどから、メディアクエリの中でも、以下の縦長画面と横長画面の指定については、優先して対応されることが望まれる。

横長画面：@media all and (orientation: landscape) { }

縦長画面：@media all and (orientation: portrait) { }

「orientation: landscape」については、EPUB Fixed Layout で横長画面を「landscape」であるとみなすのと同様に、端末横置き時に画面内に縦長の2ページを並べて表示する場合であっても「landscape」の指定が適用されるのが望ましい。

■P.10 / 追加

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■文字・テキスト」

→「文字集合」

【変更前】JIS X 0213:2004

【変更後】JIS X 0213:2004 (Unicode ではサロゲートペア領域に含まれる文字も含む)

■P.11 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■文字・テキスト」

→「縦組み時の文字の向き」

【変更前】

将来的に、デフォルトの文字の向きは、Unicode Consortium の決定に従うものとする。

ただし、現状ではそれらが確定していないため、本ガイドでは以下の文書に準拠した表示を想定する。

「CSS Writing Modes Module Level 3 W3C Working Draft 15 November 2012」

<http://www.w3.org/TR/2012/WD-css3-writing-modes-20121115/>

※「5.1.1. Mixed Vertical Orientations」の「ISSUE 1」内で、「this draft of version 6」に貼られたリンク先にある以下のファイルを参照のこと

<http://www.unicode.org/reports/tr50/tr50-6.Orientation.txt>

また、縦組み時の文字の向きは、以下の CSS プロパティで変更されるものとして指定する。

向きの変更が適用される文字は、上記文書の記述に従うものとする。

正立 : -epub-text-orientation: upright;

右90度回転（横転） : -epub-text-orientation: sideways;

(※ CSS には現仕様本来の「rotate-right」と併記しておくこととする)

※ただし現状では、半角文字に `upright` を指定したとき、複数の RS で文字のセンター位置が揃わないことが確認されている。そのため本ガイドでは、やむを得ず、`-epub-text-combine` で一部を代用する。
`-epub-text-combine` はその名が示すように「combine（結合）」のためのプロパティなので、文字の向きを変更するために用いるのは避けることが望ましい。

【変更後】

Unicode Consortium の提示する、以下の文書に準拠した表示を想定する。

「Unicode Technical Report #50 Unicode Vertical Text Layout (UTR#50) Revision 13」
<http://www.unicode.org/reports/tr50/>

また、縦組み時の文字の向きは、以下の CSS プロパティで変更されるものとして指定する。
 向きの変更が適用される文字は、上記文書の記述に従うものとする。

正立 : `-epub-text-orientation: upright;`
 右90度回転（横転） : `-epub-text-orientation: sideways;`

EPUB 3.0 時点の仕様であった値「`rotate-right`」が横転指定のために用いられている、または「`sideways`」と併記されている場合は、`sideways` と同等の動作をするものとする。

※ただし現状では、半角文字に `upright` を指定したとき、複数の RS で文字のセンター位置が揃わないことが確認されている。そのため本ガイドでは、やむを得ず、`-epub-text-combine` で一部を代用する。`-epub-text-combine` はその名が示すように「combine（結合）」のためのプロパティなので、文字の向きを変更するために用いるのは避けることが望ましい。

また、CSS の `upright` 指定では、「Tr」「Tu」「R」「U」といった既定の向きに関わらず、縦書き用グリフがあればそれを表示することになっているため、組み方向により形が変わりそうな文字には注意が必要である。

■P.11 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」
 →「■文字・テキスト」
 →「縦組み時の `vertical-align`」

【変更前】

縦組みにおいて、テキスト、画像、またはその他の要素で「`vertical-align`」が「`baseline`」に指定されている場合は、CSS3 における { `vertical-align: central;` } 指定時と同様の表示（中央揃え）とする。

【変更後】

画像及び正立すべき文字は「CSS Writing Modes Level 3 W3C Candidate Recommendation, 20 March 2014」の「4.2 Text Baselines」で「The central baseline」として示された表示（中央揃え）になるものと想定する。
<http://www.w3.org/TR/2014/CR-css-writing-modes-3-20140320/#central-baseline>

■P.11 / 表現修正

「リーディングシステムに期待する動作」
 →「■文字・テキスト」
 →「禁則」

【変更前】

現時点では Radium 準拠にこだわらず、RS 次第であるものと想定する。

【変更後】

現時点では RS 次第であるものと想定する。

■P.13 / 削除

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■ページメディアの余白」

→「body 要素の余白指定」

【変更後】以下の部分を削除

なお、RS が独自に追加する余白は、margin、padding ではなく、@page により制御可能であることが望ましい。ただし、まだ @page で余白を制御できるケースが少なく、表示への影響を十分に把握できていないため、デフォルトでは @page による指定はせずにおく。

※特に、画面左右の余白は、@page による指定でのコントロールを期待する。それだけで、横置き画面で2画面表示となる RS では、Fixed Layout を利用しなくても見開き表現に近いことが可能になる場合もあるだろう。

■P.14 / 追加

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■その他 HTML 要素」

→「ルビ」

【変更前】

- ・縦中横指定 (-epub-text-combine) ※文字の向き指定にも利用するため

【変更後】

- ・縦中横指定 (-epub-text-combine 及び -epub-text-combine-horizontal)
※文字の向き指定にも利用するため

■P.14 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■その他 HTML 要素」

→「nav 要素とリスト系要素」

【変更前】EPUB Content Documents 3.0 の記載にあるように

【変更後】EPUB Content Documents 3.0.1 の記載にあるように

■P.14 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■その他 CSS の解釈」

→「傍線」

【変更前】

CSS3 の仕様上、縦組みでは今後、デフォルトで { text-decoration: overline; } はテキストの左線、{ text-decoration: underline; } は、右線になることが予想されているが、現状では underline が左線として出る RS が複数あることを踏まえ、状況が落ち着くまでは body に { text-underline-position: under left; } を指定することで、overline を右線、underline を左線として利用することとする（現時点では、念のため -webkit-接頭辞付きの指定も併記する）。

【変更後】

EPUB 3.0.1 より「-epub-text-underline-position」が採用されたことを踏まえ、body には { -epub-text-underline-position: under left; } を、縦組みではテキストの右線に { text-decoration: underline; } を、左線に { text-decoration: overline; } を指定しておくものとする。

現時点ではまだ「-epub-text-underline-position」が必ず反映されるとはかぎらないため、左線に { text-decoration: underline; -epub-text-underline-position: right; } とは指定しないでおく。
{ -epub-text-underline-position: auto; } は、現段階ではまだ利用を想定しない。

■P.14 / 誤植訂正・追加

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■その他 CSS の解釈」

→「縦中横」

【変更前】

{ text-combine: horizontal; } は、半角 3 桁まで縦中横をするものと想定する。

【変更後】

{ -epub-text-combine: horizontal; } 及び { -epub-text-combine-horizontal: all; } は、半角 3 桁まで縦中横をするものと想定する。

■P.15 / 追加

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■その他 CSS の解釈」

→「縦中横」

【変更後】末尾に以下の文章を追加

なお、EPUB 3.0.1 の仕様では、[CSS3WritingModes-20121115] での変更されたプロパティ名を受けて「-epub-text-combine-horizontal」が新たに採用されているが、勧告候補となった現在の [CSS3WritingModes]

(20140320) ではさらにプロパティ名が変更され、「text-combine-upright」となっていることから、縦中横の指定には、当面これまでの「-epub-text-combine」の利用を想定するものとする。RS には、将来的にもこのプロパティへの対応が強く望まれる。さらに「-epub-text-combine-horizontal」が用いられた場合も、正しく縦中横指定と解釈されるものとする。また、これらを利用する際は、今後のブラウザ等での表示確認の便宜も考えて、{ text-combine-upright: all; } も追加で指定しておくことを推奨する

■P.15 / 移動

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■その他」

→「将来的に優先して EPUB 3.0 範囲内で対応することが望まれる値やプロパティ等」

【変更後】別紙「今後の RS に期待する項目.pdf」に移動（内容変更あり）

■P.15 / 移動

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■その他」

→「将来的に優先して EPUB 仕様に CSS3 より導入することが望まれる値やプロパティ等」

【変更後】別紙「今後の RS に期待する項目.pdf」に移動（内容変更あり）

■P.16 / 移動

「リーディングシステムに期待する動作」
 → 「■RS による対応を想定する HTML 要素と CSS プロパティ」
 → 「【CSS】」
 → 「@ルール」

【変更後】

「@page」を「本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」（p.19）の
 「【CSS】」→「@ルール」に移動

■P.17 / 移動・追加・削除

「リーディングシステムに期待する動作」
 → 「■RS による対応を想定する HTML 要素と CSS プロパティ」
 → 「【CSS】」

【変更前】

CSS Text Level 3
 -epub-line-break / -epub-word-break / -epub-text-align-last
 -epub-text-emphasis / -epub-text-emphasis-color / -epub-text-emphasis-style
 text-underline-position
 CSS Writing Modes Module Level 3
 -epub-writing-mode / -epub-text-orientation / -epub-text-combine
 CSS Fonts Level 3
 @font-face (font-family / font-style / font-weight / src / unicode-range)

【変更後】

CSS Text Level 3
 -epub-line-break / -epub-word-break / -epub-text-align-last
 CSS Writing Modes Module Level 3
 -epub-writing-mode / -epub-text-orientation / -epub-text-combine
 -epub-text-combine-horizontal
 CSS Fonts Level 3
 @font-face (font-family / font-style / font-weight / src / unicode-range)
 CSS Text Decoration Level 3
 -epub-text-emphasis / -epub-text-emphasis-color / -epub-text-emphasis-style
 -epub-text-underline-position

■P.17 / 削除

「リーディングシステムに期待する動作」
 → 「■本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」
 → 「【HTML】」
 → 「セクション」

【変更後】「hgroup要素」を削除（HTML5 の仕様から外れたため）

■P.17 / 追加

「リーディングシステムに期待する動作」
 → 「■本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」

→ 「【HTML】」

→ 「テキストレベルの意味づけ」

【変更後】以下を追加（HTML5 で新たに追加されたルビ関連要素）

/ rb要素 / rtc要素 / rp要素

■P.18 / 追加

「リーディングシステムに期待する動作」

→ 「■本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」

→ 「【CSS】」

→ 「セクタ」

【変更前】

疑似要素 (:focus / :lang / :first-child / :first-line / :first-letter / :after / :before)

【変更後】

E:focus / E:lang(c) / E:first-child / E:first-line / E::first-line

E:first-letter / E::first-letter / E:before / E::before / E:after / E::after

E[foo^="bar"] / E[foo\$="bar"] / E[foo*="bar"] / E:root / E:nth-child(n)

E:nth-last-child(n) / E:nth-of-type(n) / E:nth-last-of-type(n)

E:last-child / E:first-of-type / E:last-of-type / E:only-child / E:only-of-type

E:empty / E:target / E:enabled / E:disabled / E:checked / E:not(s) / E ~ F

■P.22 / 変更

「制作記述の基本項目」

→ 「■最新版の epubcheck でエラーの出ないデータを制作すること」

【変更前】

epubcheck - Validation tool for EPUB - Google Project Hosting

<http://code.google.com/p/epubcheck/>

【変更後】

IDPF/epubcheck · GitHub

<https://github.com/IDPF/epubcheck/>

■P.23 / 表現修正

「制作記述の基本項目」

→ 「■ファイル仕様」

→ 「・ epub:type は、カバーとナビゲーション文書にのみ挿入」

【変更前】

将来システムから利用される可能性が高そうな以下の2項目だけ

【変更後】

将来システムから利用される可能性が高そうな以下の項目だけ

■P.23 / 表現修正

「制作記述の基本項目」

→「■ファイル仕様」

→「・epub:type は、カバーとナビゲーション文書にのみ挿入」

【変更前】

ナビゲーション文書の <nav> に epub:type="toc" が指定されていないと epubcheck でエラーが出ますので、必ず指定するようにしてください。

【変更後】

ナビゲーション文書に epub:type="toc" が指定された <nav> が存在しないと epubcheck でエラーが出ますので、必ず指定するようにしてください。

■P.28 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」

→「■OPF ファイル」

→「[sample code]」

【変更前】

<!-- 更新日 -->

<meta property="dcterms:modified">2012-01-01T00:00:00Z</meta>

【変更後】

<!-- 更新日 -->

<meta property="dcterms:modified">2014-01-01T00:00:00Z</meta>

■P.28 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」

→「■OPF ファイル」

→「[sample code]」

【変更前】

<!-- etc. -->

<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.2</meta>

【変更後】

<!-- etc. -->

<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.3</meta>

■P.40 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」

→「【参考情報】」

→「■縦組み左右中央ページ」

【変更前】

・天地の margin がゼロになるので、必要に応じて <div class="main"> 部分に margin か padding を指定すること（この手法では <body> に margin、padding の追記は不可。p-text など <body> に指定する class に margin などが指定されているときも期待どおりの表示にはならないので要注意）

・テキスト系ページで「vrtl block-align-center」を <body> ではなく <div class="main"> に指定したいときは、<body> の margin と padding をゼロにしておくこと

【変更後】

・天地の margin がゼロになるので、必要に応じて <div class="main"> の内側にさらに <div> を用意して、margin か padding を指定すること（この手法では <body> 及び <div class="main"> に margin、padding の追記は不可。p-text など <body> に指定する class に margin などが指定されているときも期待どおりの表示にはならないので要注意）

■P.40 / 追加

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」

→「【参考情報】」

→「■縦組み左右中央ページ」

【変更後】以下の行を追加

- ・横組みの天地中央指定をしたいときは、下記の「h1tr」と「vrtl」を入れ替えること
その際、main に width-100per を指定しないと右寄せとなるので注意
※ベースは縦組みなので、右から左に要素が配置されます

■P.40 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」

→「【参考情報】」

→「■縦組み左右中央ページ」

→「[sample code]」

【変更前】

```
<body class="p-text vrtl block-align-center">
```

```
<div class="main">
```

```
<p>あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと</p>
```

```
</div>
```

```
</body>
```

【変更後】

```
<body class="p-text">
```

```
<div class="main vrtl block-align-center">
```

```
<div class="start-2em"> // ←ページ全体の字下げには、さらに内側に <div> を用意
```

```
<p>あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと</p>
```

```
</div>
```

```
</div>
```

```
</body>
```

■P.41 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」
 →「【参考情報】」
 →「■縦組み左右中央ページ」
 →「※以下は、画像を左下隅に置く例」

【変更前】

- ・地揃えにしたいとき、body の高さを 100% に指定しないと WebKit 系では位置がずれるので注意
- ・body の高さを指定すると表示が崩れる RS があるかもしれないので、事前によく確認すること

【変更後】

- ・地揃えにしたいとき、body 直下の <div class="main"> の高さを 100% に指定しないと WebKit 系では位置がずれるので注意

※横組みにすることは、高さではなく幅を 100% に指定すること

■P.41 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」
 →「【参考情報】」
 →「■縦組み左右中央ページ」
 →「※以下は、画像を左下隅に置く例」
 →「[sample code]」

【変更前】

```
<body class="p-text vrtl block-align-center height-100per">
<div class="main align-end">

<p></p>

</div>
</body>
```

【変更後】

```
<body class="p-text">
<div class="main vrtl block-align-left height-100per">

<div class="align-end">      // ←ページ全体の下寄せには、さらに内側に <div> を用意
<p></p>
</div>

</div>
</body>
```

■P.44 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「B. 固定レイアウト型」
 →「■OPF ファイル」
 →「[sample code]」

【変更前】

```
<!-- 更新日 -->
```

```
<meta property="dcterms:modified">2012-01-01T00:00:00Z</meta>
```

【変更後】

```
<!-- 更新日 -->
```

```
<meta property="dcterms:modified">2014-01-01T00:00:00Z</meta>
```

■P.44 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→ 「B. 固定レイアウト型」

→ 「■OPF ファイル」

→ 「[sample code]」

【変更前】

```
<!-- etc. -->
```

```
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.2</meta>
```

【変更後】

```
<!-- etc. -->
```

```
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.3</meta>
```

■P.46～P.48 / 誤植訂正

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→ 「B. 固定レイアウト型」

→ 「XHTML 文書ファイル」

→ 「[sample code]」

【変更後】

各ページで、下記2か所のサイズ値（「848」と「1200」）の文字色を青に訂正

```
-----
<meta name="viewport" content="width=848, height=1200"/>
-----
```

```
width="100%" height="100%" viewBox="0 0 848 1200">
-----
```

■P.51 / 削除

「書式一覧」

→ 「■特殊な文字の指定」

→ 「・(C)表記」

【変更後】 「・(C)表記」の項目を削除

■P.62 / 追加

「書式一覧」

→ 「■行や文字の間隔」

→ 「・文字間」

【変更後】 下記の【備考】を追加

【備考】

画像とテキストの間には反映されないことがあるため（代表的なモダンブラウザでは反映されません）、画像や外字画像を含むような箇所での利用は避けることを推奨します。

縦中横を含む文章に文字間の指定をすると、縦中横で結合されたはずの文字のあいだにまで指定が効くことがあります。CSS の仕様では、縦中横を含む文字列に文字間指定された際の挙動が定められていないため、このような状況での利用は、なるべく避けることを推奨します。

なお、この現象を避けるため、縦中横部分に文字間ゼロの指定をすると、今度は縦中横した文字とその下の文字の間での文字間の指定が反映されなくなる場合がありますので注意してください。

■P.65 / 変更

「書式一覧」

→「■リンク」

→「【備考】」

【変更前】

ジャンプ先の <div> か <p>、または見出し要素（<h1>～<h6>）への id 指定を基本とします。

※ブロックレベル要素でない <a> や などにリンク用の id を指定しないこと。

相互リンクの際も無理に解決しようとせず、該当語を含む <p> などに id を指定します。

【変更後】

ジャンプ先の要素への id 指定を基本とします。

■P.65 / 変更

「書式一覧」

→「■リンク」

→「・ ページ内へのリンク」

【変更前】

【HTML elements】

リンク元 : リンク指定側

<p id="id">ジャンプ先</p> : ジャンプ先側（または <div> や <h1>～<h6> 等に指定）

例) 「id="link-001"」の位置へ

-----[sample code]-----

```
<p><a href="#link-001">内容へのリンク</a></p>
```

```
<p id="link-001">内容の本文</p>
```

【変更後】

【HTML elements】

リンク元 : リンク指定側

ジャンプ先 : ジャンプ先側（または <div> や <p>、<a>、<h1>～<h6> 等に指定）

例) 「id="link-001"」の位置へ

-----[sample code]-----

```
<p><a href="#link-001">内容へのリンク</a></p>
```

```
<p id="link-001">内容の本文</p>
```

// 段落の先頭にジャンプ

```
<p>内容の本文<span id="link-001">リンク先</span>内容の本文</p>
```

// 段落内の一部にジャンプ

■P.65 / 変更

「書式一覧」

→「■リンク」

→「・他ファイル中の任意の場所へのリンク」

【変更前】

【HTML elements】

`リンク元` : リンク指定側

`<p id="id">ジャンプ先</p>` : ジャンプ先側

【変更後】

【HTML elements】

`リンク元` : リンク指定側

`ジャンプ先` : ジャンプ先側

(または `<div>` や `<p>`、`<a>`、`<h1>`～`<h6>` 等に指定)

■P.66 / 追加

「書式一覧」

→「■リンク」

【変更後】「・相互リンク」の項目を追加

・相互リンク

【HTML elements】

`<p>リンク 1</p>` : リンク 1
(リンク 2 の位置へジャンプ)

`<p>リンク 2</p>` : リンク 2
(リンク 1 の位置へジャンプ)

■P.66 / 削除

「書式一覧」

→「■注釈」

→「【備考】」

【変更後】以下の部分を削除

※WebKit 系 Web ブラウザなど、縦組みのときインライン要素へのページ内リンクが効かない環境での一応の確
認用として、チェック用の CSS では下記の key と ref をインラインブロック指定しています。

■P.66 / 変更

「書式一覧」

→「■注釈」

【変更前】

【CSS class】

`class="cyu"` : 文字色は青、傍線つきがデフォルト

`class="key"` : inline-block 要素、文字サイズのデフォルトは「smaller」

class="ref" : inline-block 要素、文字サイズのデフォルトは「smaller」

※「ref」は「reference（リファレンス、参照）」の略

【HTML elements】

```
<a class="cyu" href="ファイル名#ref-001">項目<span class="key" id="key-001">*</span></a>
```

: 注釈記号側

```
<p id="ref-001"><a class="cyu" href="ファイル名#key-001">項目</a>□テキスト。</p>
```

: 注釈の受け側

```
<a class="cyu" href="ファイル名#ref-001">項目 1<span class="key" id="key-001">*</span></a>
```

```
<a class="cyu" href="ファイル名#key-001">項目 2<span class="ref" id="ref-001">*</span></a>
```

: 注釈の相互リンク（<p>で指定した文が数行に渡るなど、どうしても必要な場合に利用）

例)

```
-----[sample code]-----
```

```
<a class="cyu" href="cyushaku.xhtml#ref-001">蜘蛛の糸<span class="key" id="key-001">*</span></a>
```

```
<p id="ref-001"><a class="cyu" href="p-001.xhtml#key-001">＊蜘蛛の糸</a> ドストエフスキイ「カラマゾフ兄弟」第七篇第三「一本の葱」に取材。</p>
```

```
-----
```

【変更後】

【CSS class】

class="noteref" : 文字色は青、傍線つきがデフォルト

class="note" : 文字色は青、傍線つきがデフォルト

class="footnote" : 特に指定なし（「footnote」は「脚注」の意）

class="super" : 上付文字指定（「上付文字、下付文字」の項を参照）

※ここでは注釈記号用として利用

【HTML elements】

```
<p><a class="noteref" id="noteref-001" href="ファイル名#note-001">項目<span class="super">*</span></a></p>
```

: 注釈参照側（注釈記号の部分は、class 含め、作品にあわせて自由に指定して構いません）

```
<p><a class="note" id="note-001" href="ファイル名#noteref-001">＊項目</a>□テキスト</p>
```

: 注釈内容側

```
<div class="footnote" id="note-001">
```

```
<p><a class="note" href="ファイル名#noteref-001">＊項目</a>□テキスト</p>
```

```
<p>□テキスト</p>
```

```
</div>
```

: 注釈内容側を <div> で指定したい場合の一例

例)

```
-----[sample code]-----
```

```
<p><a class="noteref" id="noteref-001" href="p-002.xhtml#note-001">蜘蛛の糸<span class="super">*</span></a></p>
```

```
<p><a class="note" id="note-001" href="p-001.xhtml#noteref-001">＊蜘蛛の糸</a>□ドストエフスキイ「カラマゾフ兄弟」第七篇第三「一本の葱」に取材。</p>
```

```
-----
```

【参考情報】

注釈を表す「`epub:type`」を挿入することで、RS がその情報を利用することも可能になります。

RS がどのような利用をするかは EPUB の仕様では定められておらず、その利用方法を指定することもできないため、事前に RS の挙動を確認し、版元とよくご相談の上ご利用ください。

 参考情報.pdf

■P.4 / 変更

「固定レイアウト型の fallback と基準サイズ」

→ 「■OPF ファイル」

→ 「[sample code]」

【変更前】

<!-- 更新日 -->

<meta property="dcterms:modified">2012-01-01T00:00:00Z</meta>

【変更後】

<!-- 更新日 -->

<meta property="dcterms:modified">2014-01-01T00:00:00Z</meta>

■P.4 / 変更

「固定レイアウト型の fallback と基準サイズ」

→ 「■OPF ファイル」

→ 「[sample code]」

【変更前】

<!-- etc. -->

<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>

【変更後】

<!-- etc. -->

<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.3</meta>

■P.6 / 変更

「固定レイアウト型の fallback と基準サイズ」

→ 「■OPF ファイル」

→ 「[sample code]」

【変更前】

<!-- etc. -->

<meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>

【変更後】

<!-- etc. -->

<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.3</meta>

※その他、P.7 以降を追加

CSS機能一覧.pdf

■ 標題 / 変更

【変更前】 CSS 機能一覧 (ver.1.1.1)

【変更後】 CSS 機能一覧 (電書協ガイド ver.1.1.3)

■ 縦中横 / 変更

→ 「.tcy」

→ 「css」

【変更前】

-webkit-text-orientation: horizontal;

-epub-text-orientation: horizontal;

【変更後】

-webkit-text-orientation: horizontal;

-webkit-text-orientation-upright: all;

text-orientation-upright: all;

-epub-text-orientation: horizontal;

■ 縦組み時の文字の向き / 変更

→ 「横転 (右90度回転)」

→ 「.sideways」

→ 「css」

【変更前】

-webkit-text-orientation: sideways;

-epub-text-orientation: rotate-right;

-epub-text-orientation: sideways;

【変更後】

-webkit-text-orientation: sideways;

-epub-text-orientation: sideways;

■ 縦組み時の文字の向き / 変更

→ 「半角 1 文字の正立 (縦中横を利用)」

→ 「.upright-1」

→ 「css」

【変更前】

-webkit-text-orientation: horizontal;

-epub-text-orientation: horizontal;

【変更後】

-webkit-text-orientation: horizontal;

-webkit-text-orientation-upright: all;

```
text-combine-upright: all;  
-epub-text-combine: horizontal;
```

■ 「行揃え」 / 変更

→ 「行頭揃え」 (.align-left / .align-start)

【変更前】

```
text-align: left;  
-webkit-text-align-last: left;  
-epub-text-align-last: left;
```

【変更後】

```
text-align: left;
```

■ 「行揃え」 / 変更

→ 「行中揃え」 (.align-center)

【変更前】

```
text-align: center;  
-webkit-text-align-last: auto;  
-epub-text-align-last: auto;
```

【変更後】

```
text-align: center;
```

■ 「行揃え」 / 変更

→ 「行末揃え」 (.align-right / .align-end)

【変更前】

```
text-align: right;  
-webkit-text-align-last: auto;  
-epub-text-align-last: auto;
```

【変更後】

```
text-align: right;
```

■ 「行揃え」 / 変更

→ 「両端揃え」 (.align-justify)

【変更前】

```
text-align: justify;  
-webkit-text-align-last: left;  
-epub-text-align-last: left;
```

【変更後】

```
text-align: justify;
```

■「注釈リンク」 / 削除

→「注釈記号」

【変更後】「注釈記号」「下線・色」の項目を削除

■「色指定」 / 追加

【変更後】以下の3項目を追加（CSS 欄はすべて「※無指定」）

「リンク下線・色（特殊リンク）」

```
a.link-**  
a.link-**:link  
a.link-**:visited  
a.link-**:hover  
a.link-**:focus  
a.link-**:active
```

「リンク下線・色（注釈参照側）」

```
a.noteref  
a.noteref:link  
a.noteref:visited  
a.noteref:hover  
a.noteref:focus  
a.noteref:active
```

「リンク下線・色（注釈内容側）」

```
a.note  
a.note:link  
a.note:visited  
a.note:hover  
a.note:focus  
a.note:active
```

 サンプルファイルの CSS

■ 「style-reset.css」 / 変更

→ 「ファイル情報」

【変更前】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.2.0

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.2

【変更後】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.2.1

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.3

■ 「style-reset.css」 / 削除

→ 「body」

【変更後】 下記 2 行を削除

-webkit-text-align-last: left;

-epub-text-align-last: left;

■ 「style-reset.css」 / 追加

→ 「【更新履歴】」

【変更後】 以下の更新履歴を追加

2014/11/01 ver.1.2.1

- ・ 「-epub(webkit)-text-align-last」を削除
- ・ 「text-underline-position」を「-epub-text-underline-position」に変更

■ 「style-reset.css」 / 変更

→ 「body」

【変更前】

text-underline-position: under left;

【変更後】

-epub-text-underline-position: under left;

■ 「style-standard.css」 / 変更

→ 「ファイル情報」

【変更前】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.3.0

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.1

【変更後】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.3.1

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.3

■ 「style-standard.css」 / 追加

→ 「【更新履歴】」

【変更後】以下の更新履歴を追加

2014/11/01 ver.1.3.1

- ・「行揃え」の「-epub(webkit)-text-align-last」を削除
- ・「縦中横」を修正
- ・「文字の向き」の「.upright-1」を修正
- ・「文字の向き」の「.sideways」を修正

■ 「style-standard.css」 / 変更

→ 「行揃え」

【変更前】

```
/* 行頭揃え */
.align-left,
.align-start {
    text-align: left;
    -webkit-text-align-last: left;
    -epub-text-align-last: left;
}
/* 行中揃え */
.align-center {
    text-align: center;
    -webkit-text-align-last: auto;
    -epub-text-align-last: auto;
}
/* 行末揃え */
.align-right,
.align-end {
    text-align: right;
    -webkit-text-align-last: auto;
    -epub-text-align-last: auto;
}
/* 両端揃え（行末は行頭揃え） */
```

```
.align-justify {
    text-align: justify;
    -webkit-text-align-last: left;
    -epub-text-align-last: left;
}
```

【変更後】

```
/* 行頭揃え */
.align-left,
.align-start {
    text-align: left;
}
/* 行中揃え */
.align-center {
    text-align: center;
}
/* 行末揃え */
.align-right,
.align-end {
    text-align: right;
}
/* 両端揃え（行末は行頭揃え） */
.align-justify {
    text-align: justify;
}
```

■ 「style-standard.css」 / 変更
→ 「.tcy」

【変更前】

```
.tcy {
    -webkit-text-orientation: horizontal;
    -epub-text-orientation: horizontal;
}
```

【変更後】

```
.tcy {
    -webkit-text-orientation: horizontal;
    -webkit-text-orientation-upright: all;
    text-orientation-upright: all;
    -epub-text-orientation: horizontal;
}
```

■ 「style-standard.css」 / 変更
→ 「.upright-1」

【変更前】

```
.upright-1 {
    -webkit-text-orientation: horizontal;
    -epub-text-orientation: horizontal;
}
```

```
}
```

【変更後】

```
.upright-1 {
  -webkit-text-orientation: horizontal;
  -webkit-text-orientation: upright;
  text-orientation: upright;
  -epub-text-orientation: horizontal;
}
```

■ 「style-standard.css」 / 変更

→ 「.sideways」

【変更前】

```
.sideways {
  -webkit-text-orientation: sideways;
  -epub-text-orientation: rotate-right;
  -epub-text-orientation: sideways;
}
```

【変更後】

```
.sideways {
  -webkit-text-orientation: sideways;
  -epub-text-orientation: sideways;
}
```

■ 「style-advance.css」 / 変更

→ 「ファイル情報」

【変更前】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.3.0

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.1

【変更後】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.3.1

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.3

■ 「style-advance.css」 / 追加

→ 「【更新履歴】」

【変更後】以下の更新履歴を追加

2014/11/01 ver.1.3.1

- ・「線位置【二重線】」を修正

■ 「style-advance.css」 / 変更

→ 「線位置【二重線】」

【変更前】

```
/* 線位置【二重線】 */
/* 横組み用 */
.hltr .k-double-start,      .vrtl .hltr .k-double-start    { border-style: none none none double; }
.hltr .k-double-before,     .vrtl .hltr .k-double-before   { border-style: double none none none; }
.hltr .k-double-end,        .vrtl .hltr .k-double-end      { border-style: none double none none; }
.hltr .k-double-after,      .vrtl .hltr .k-double-after    { border-style: none none double none; }
.hltr .k-double-startend,   .vrtl .hltr .k-double-startend { border-style: none double none double; }
.hltr .k-double-beforeafter, .vrtl .hltr .k-double-beforeafter { border-style: double none double none; }
/* 縦組み用 */
.vrtl .k-double-start,      .vrtl .hltr .k-double-start    { border-style: double none none none; }
.vrtl .k-double-before,     .vrtl .hltr .k-double-before   { border-style: none double none none; }
.vrtl .k-double-end,        .vrtl .hltr .k-double-end      { border-style: none none double none; }
.vrtl .k-double-after,      .vrtl .hltr .k-double-after    { border-style: none none none double; }
.vrtl .k-double-startend,   .vrtl .hltr .k-double-startend { border-style: double none double none; }
.vrtl .k-double-beforeafter, .vrtl .hltr .k-double-beforeafter { border-style: none double none double; }
```

【変更後】

```
/* 線位置【二重線】 */
/* 横組み用 */
.hltr .k-double-start,      .vrtl .hltr .k-double-start    { border-style: none none none double; }
.hltr .k-double-before,     .vrtl .hltr .k-double-before   { border-style: double none none none; }
.hltr .k-double-end,        .vrtl .hltr .k-double-end      { border-style: none double none none; }
.hltr .k-double-after,      .vrtl .hltr .k-double-after    { border-style: none none double none; }
.hltr .k-double-startend,   .vrtl .hltr .k-double-startend { border-style: none double none double; }
.hltr .k-double-beforeafter, .vrtl .hltr .k-double-beforeafter { border-style: double none double none; }
/* 縦組み用 */
.vrtl .k-double-start,      .hltr .vrtl .k-double-start    { border-style: double none none none; }
.vrtl .k-double-before,     .hltr .vrtl .k-double-before   { border-style: none double none none; }
.vrtl .k-double-end,        .hltr .vrtl .k-double-end      { border-style: none none double none; }
.vrtl .k-double-after,      .hltr .vrtl .k-double-after    { border-style: none none none double; }
.vrtl .k-double-startend,   .hltr .vrtl .k-double-startend { border-style: double none double none; }
.vrtl .k-double-beforeafter, .hltr .vrtl .k-double-beforeafter { border-style: none double none double; }
```

■ 「style-check.css」 / 変更

→ 「ファイル情報」

【変更前】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.1.0

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.1

【変更後】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.1.1

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.3

■「style-check.css」 / 追加

→「【更新履歴】」

【変更後】以下の更新履歴を追加

2014/11/01 ver.1.1.1

- ・「特定RS対策用」指定を削除

■「style-check.css」 / 削除

→「特定RS対策用」

【変更後】※「特定RS対策用」指定をすべて削除

■「book-style.css」 / 変更

→「ファイル情報」

【変更前】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.1.0

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.1

【変更後】

【CSSファイルバージョン】

ver.1.1.1

【当ファイル更新時の電書協EPUB 3 制作ガイドバージョン】

ver.1.1.3

■「book-style.css」 / 追加

→「【更新履歴】」

【変更後】以下の更新履歴を追加

2014/11/01 ver.1.1.1

- ・「特殊リンク指定」を追加
- ・「注釈リンクの下線と色」を変更

■「book-style.css」 / 追加

→「リンク指定」

【変更後】※以下、link-03 まで追加

/* 特殊リンク指定

```

----- */
/* 基本設定（上：横組み 下：縦組み） */

/* .link-01
----- */
.hltr a.link-01 {
}
.vrtl a.link-01 {
}
/* 未訪問リンク */
a.link-01:link {
}
/* 訪問済みリンク */
a.link-01:visited {
}
/* マウスオーバー時 */
a.link-01:hover {
}
/* フォーカス時 */
a.link-01:focus {
}
/* アクティブ時 */
a.link-01:active {
}

```

■ 「book-style.css」 / 変更
→ 「注釈リンクの下線と色」

【変更前】

```

/* 注釈リンクの下線と色
----- */
/* 基本設定（上：横組み 下：縦組み） */
.hltr a.cyu {
}
.vrtl a.cyu {
}
/* 未訪問リンク */
a.cyu:link {
}
/* 訪問済みリンク */
a.cyu:visited {
}
/* マウスオーバー時 */
a.cyu:hover {
}
/* フォーカス時 */
a.cyu:focus {
}
/* アクティブ時 */
a.cyu:active {
}

```

【変更後】

```
/* 注釈リンクの下線と色 （注釈参照側）
----- */

/* 基本設定（上：横組み 下：縦組み） */
.hltr a.noteref {
}
.vrtl a.noteref {
}
/* 未訪問リンク */
a.noteref:link {
}
/* 訪問済みリンク */
a.noteref:visited {
}
/* マウスオーバー時 */
a.noteref:hover {
}
/* フォーカス時 */
a.noteref:focus {
}
/* アクティブ時 */
a.noteref:active {
}

/* 注釈リンクの下線と色 （注釈内容側）
----- */

/* 基本設定（上：横組み 下：縦組み） */
.hltr a.note {
}
.vrtl a.note {
}
/* 未訪問リンク */
a.note:link {
}
/* 訪問済みリンク */
a.note:visited {
}
/* マウスオーバー時 */
a.note:hover {
}
/* フォーカス時 */
a.note:focus {
}
/* アクティブ時 */
a.note:active {
}
```

 サンプルファイルの XHTML

■ 「book-template.epub」 / 変更

→ 「standard.opf」

【変更前】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2012-01-01T00:00:00Z</meta>
```

```
<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>
```

【変更後】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2014-11-01T00:00:00Z</meta>
```

```
<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.3</meta>
```

■ 「book-template.epub」 / 追加

→ 「navigation-documents.xhtml」

【変更後】

<nav></nav> 前後に空白行を挿入

■ 「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→ 「standard.opf」

【変更前】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2012-01-01T00:00:00Z</meta>
```

```
<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>
```

【変更後】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2014-11-01T00:00:00Z</meta>
```

```
<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.3</meta>
```

■ 「ebpaj-sample.epub」 / 追加

→ 「navigation-documents.xhtml」

【変更後】 <nav></nav> 前後に空白行を挿入

■ 「ebpaj-sample.epub」 / 変更
→ 「p-002.xhtml」

【変更前】

```
<a class="cyu" href="p-cyushaku.xhtml#ref-001"><span class="lspacing-0em50"><ruby>蜘蛛</rt></span><span class="key" id="key-001">*註<span class="tcy">#01</span></span></a>
```

【変更後】

```
<a class="noteref" id="noteref-001" href="p-cyushaku.xhtml#note-001"><span class="lspacing-0em50"><ruby>蜘蛛</rt></span><span class="key" id="key-001">*註<span class="tcy">#01</span></span></a>
```

■ 「ebpaj-sample.epub」 / 変更
→ 「p-002.xhtml」

【変更前】

```
<a class="cyu" href="#ref-002"><span id="key-002">*註<span class="tcy">#02</span></span></a>
```

【変更後】

```
<a class="noteref" id="noteref-002" href="#note-002">*註<span class="tcy">#02</span></a>
```

■ 「ebpaj-sample.epub」 / 変更
→ 「p-002.xhtml」

【変更前】

```
<a class="cyu" href="p-cyushaku.xhtml#ref-003">朝<span class="key" id="key-003">*註<span class="tcy">#03</span></span></a>
```

【変更後】

```
<a class="noteref" id="noteref-003" href="p-cyushaku.xhtml#note-003">朝<span class="super">*註<span class="tcy">#03</span></span></a>
```

■ 「ebpaj-sample.epub」 / 変更
→ 「p-002.xhtml」

【変更前】

```
<a class="cyu" href="p-cyushaku.xhtml#ref-004">やがて<span class="key" id="key-004">*註<span class="tcy">#04</span></span></a>
```

【変更後】

```
<a class="noteref" id="noteref-004" href="p-cyushaku.xhtml#note-004">やがて<span class="super">*註<span class="tcy">#04</span></span></a>
```

■ 「ebpaj-sample.epub」 / 変更
→ 「p-002.xhtml」

【変更前】

```
<a class="cyu" href="p-cyushaku.xhtml#ref-005"><ruby>鍵<rt>かん</rt>陀<rt>だ</rt>多<rt>た</rt></ruby><span class="key" id="key-005">*註<span class="tcy">#05</span></span></a>
```

【変更後】

```
<a class="noteref" id="noteref-005" href="p-cyushaku.xhtml#note-005"><ruby>鍵<rt>かん</rt>陀<rt>だ</rt>多<rt>た</rt></ruby><span class="super">*註<span class="tcy">#05</span></span></a>
```

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-002.xhtml」

【変更前】

```
<p id="ref-002"><a class="cyu" href="#key-002">*註<span class="tcy">#02</span> 蕊</a> 植物のおしべ・めしべの総称。</p>
```

【変更後】

```
<p><a class="note" id="note-002" href="#noteref-002">*註<span class="tcy">#02</span> 蕊</a> 植物のおしべ・めしべの総称。</p>
```

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-002.xhtml」

【変更前】

```
<a class="cyu" href="p-cyushaku.xhtml#ref-006">血の池<span class="key" id="key-006">*註<span class="tcy">#06</span></span></a>
```

【変更後】

```
<a class="noteref" id="noteref-006" href="p-cyushaku.xhtml#note-006">血の池<span class="super">*註<span class="tcy">#06</span></span></a>
```

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-002.xhtml」

【変更前】

```
<a class="cyu" href="p-cyushaku.xhtml#ref-007"><ruby>萼<rt>うてな</rt></ruby><span class="key" id="key-007">*註<span class="tcy">#07</span></span></a>
```

【変更後】

```
<a class="noteref" id="noteref-007" href="p-cyushaku.xhtml#note-007"><ruby>萼<rt>うてな</rt></ruby><span class="super">*註<span class="tcy">#07</span></span></a>
```

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-cyushaku.xhtml」

【変更前】

```
<p id="ref-001"><a class="cyu" href="p-002.xhtml#key-001">*註<span class="tcy">#01</span> 蜘蛛の糸</a> ドストエフスキイ「カラマゾフ兄弟」第七<ruby>篇<rt>へん</rt></ruby>第三「一本の<ruby>葱<rt>ねぎ</rt></ruby>」に取材。</p>
```

【変更後】

<p>*註#01 蜘蛛の糸 ドストエフスキイ「カラマゾフ兄弟」第七<ruby>篇<rt>へん</rt></ruby>第三「一本の<ruby>葱<rt>ねぎ</rt></ruby>」に取材。</p>

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-cyushaku.xhtml」

【変更前】

<p id="ref-003">*註#03 朝時刻はなど。 ※行内縦長画像（幅1文字分に縮小）例</p>

【変更後】

<p>*註#03 朝時刻はなど。 ※行内縦長画像（幅1文字分に縮小）例</p>

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-cyushaku.xhtml」

【変更前】

<p id="ref-004">*註#04 やがて時刻はなど。 ※行内横長画像（高さ1文字分に縮小）例</p>

【変更後】

<p>*註#04 やがて時刻はなど。 ※行内横長画像（高さ1文字分に縮小）例</p>

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-cyushaku.xhtml」

【変更前】

<p id="ref-005">*註#05 犍陀多先ンズレバ<ruby>即<rt>すなは</rt></ruby>チ制スレ人ヲ ※訓点（返り点、送り仮名）例</p>

【変更後】

<p>*註#05 犍陀多先ンズレバ<ruby>即<rt>すなは</rt></ruby>チ制スレ人ヲ ※訓点（返り点、送り仮名）例</p>

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-cyushaku.xhtml」

【変更前】

```
<p id="ref-006"><a class="cyu" href="p-002.xhtml#key-006">*註<span class="tcy">#06</span> 血の池</a> 古池や 蛙飛<span class="kogaki">ン</span>だる 水の音 ※小書き文字「ン」例</p>
```

【変更後】

```
<p><a class="note" id="note-006" href="p-002.xhtml#noteref-006">*註<span class="tcy">#06</span> 血の池</a> 古池や 蛙飛<span class="kogaki">ン</span>だる 水の音 ※小書き文字「ン」例</p>
```

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-cyushaku.xhtml」

【変更前】

```
<p id="ref-007"><a class="cyu" href="p-002.xhtml#key-007">*註<span class="tcy">#07</span> 萼</a><span class="line-break-loose">以下、三点リーダーの連続.....<br>.....以下2倍ダーシ（U+0215）連続.....<br>.....以下罫線文字（U+2500）連続.....</span> ※禁則例</p>
```

【変更後】

```
<p><a class="note" id="note-007" href="p-002.xhtml#noteref-007">*註<span class="tcy">#07</span> 萼</a> <span class="line-break-loose">以下、三点リーダーの連続.....<br>.....以下2倍ダーシ（U+0215）連続.....<br>.....以下罫線文字（U+2500）連続.....</span> ※禁則例</p>
```

■「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→「p-colophon.xhtml」

【変更前】

```
<p>平成24年9月1日 発行</p>
```

【変更後】

```
<p>平成26年11月1日 発行</p>
```

■「fixedlayout-template.epub」 / 変更

→「standard.opf」

【変更前】

```
<!-- 更新日 --><meta property="dcterms:modified">2012-12-07T00:00:00Z</meta>
```

【変更後】

```
<!-- 更新日 --><meta property="dcterms:modified">2014-01-01T00:00:00Z</meta>
```

■ 「fixedlayout-template.epub」 / 変更
→ 「standard.opf」

【変更前】

```
<!-- etc. -->  
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>
```

【変更後】

```
<!-- etc. -->  
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.3</meta>
```

[2012/12/26 ver.1.1.2]

※当バージョンの更新はガイド本体のみ。

ガイド本体

■P.7 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

【変更前】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>

【変更後】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.2</meta>

■P.11 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■文字・テキスト」

→「縦組み時の文字の向き」

【変更前】

「CSS Writing Modes Module Level 3 W3C Working Draft 1 May 2012」

<http://www.w3.org/TR/2012/WD-css3-writing-modes-20120501/>

※「Appendix C: Vertical Typesetting Synthesis」等を参照のこと

【変更後】

「CSS Writing Modes Module Level 3 W3C Working Draft 15 November 2012」

<http://www.w3.org/TR/2012/WD-css3-writing-modes-20121115/>

※「5.1.1. Mixed Vertical Orientations」の「ISSUE 1」内で、「this draft of version 6」に貼られたリンク先にある以下のファイルを参照のこと

<http://www.unicode.org/reports/tr50/tr50-6.Orientation.txt>

縦組み時の文字の向きは、これまでのガイドでは、当時の最新の CSS Working Draft である「CSS Writing Modes Module Level 3 W3C Working Draft 1 May 2012」を参照することとしていましたが、参照先をより新しい上記の CSS Working Draft へと変更することとしました。

■P.28 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」

【変更前】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>

【変更後】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.2</meta>

■P.44 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「B. 固定レイアウト型」

→「■OPF ファイル」

【変更前】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>

【変更後】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.2</meta>

[2012/12/07 ver.1.1.1]

ガイド本体

■P.7 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

【変更前】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>

【変更後】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>

■P.14 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■その他 CSS の解釈」

→「傍線」

【変更前】

{ text-decoration: overline; } は、縦組みのときはテキストの右線とする。

{ text-decoration: underline; } は、縦組みでは今後、デフォルトで右線になることが予想されているが、現状では左線として出る RS が複数あることを踏まえ、状況が落ち着くまでは { text-underline-position: below left; } を追加指定することで、これを左線として利用することとする（現時点では、念のため -webkit-接頭辞付きの指定も併記する）。

【変更後】

CSS3 の仕様上、縦組みでは今後、デフォルトで { text-decoration: overline; } はテキストの左線、{ text-decoration: underline; } は、右線になることが予想されているが、現状では underline が左線として出る RS が複数あることを踏まえ、状況が落ち着くまでは body に { text-underline-position: under left; } を指定することで、overline を右線、underline を左線として利用することとする（現時点では、念のため -webkit-接頭辞付きの指定も併記する）。

■P.28 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」

【変更前】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>

【変更後】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>

■P.43 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「B. 固定レイアウト型」

→「■OPF ファイル」

【変更後】以下の1行を削除

SVG 未対応 RS に配慮して、<item> の xhtml ファイルに、fallback として対応する画像ファイルを指定

■P.44 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「B. 固定レイアウト型」

→ 「■OPF ファイル」

【変更前】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>

【変更後】<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>

■P.45 / 変更

→ 「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→ 「B. 固定レイアウト型」

→ 「■OPF ファイル」

【変更前】

```
<!-- xhtml -->
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-cover" href="xhtml/p-cover.xhtml"
properties="svg" fallback="cover"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-white" href="xhtml/p-white.xhtml"
properties="svg" fallback="i-white"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-001" href="xhtml/p-001.xhtml"
properties="svg" fallback="i-001"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-002" href="xhtml/p-002.xhtml"
properties="svg" fallback="i-002"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-003" href="xhtml/p-003.xhtml"
properties="svg" fallback="i-003"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-004" href="xhtml/p-004.xhtml"
properties="svg" fallback="i-004"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-005" href="xhtml/p-005.xhtml"
properties="svg" fallback="i-005"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-colophon" href="xhtml/p-colophon.xhtml"
properties="svg" fallback="i-colophon"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-white2" href="xhtml/p-white2.xhtml"
properties="svg" fallback="i-white"/>

</manifest>
```

【変更後】

```
<!-- xhtml -->
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-cover" href="xhtml/p-cover.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-white" href="xhtml/p-white.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-001" href="xhtml/p-001.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-002" href="xhtml/p-002.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-003" href="xhtml/p-003.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-004" href="xhtml/p-004.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-005" href="xhtml/p-005.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-colophon" href="xhtml/p-colophon.xhtml"
properties="svg"/>
```

```
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-white2" href="xhtml/p-white2.xhtml"
properties="svg"/>
```

```
</manifest>
```

■P.46 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→ 「B. 固定レイアウト型」

→ 「参考情報」

【変更後】 ページごと削除

■P.62 / 誤植訂正

「書式一覧」

→ 「■字下げ・インデント」

→ 「突き出しインデント（ぶら下がりインデント）」

【変更前】

```
<div class="h-indent-3em">
```

```
<p>男：いろはにほへと、ちりぬるを、わかよたれそ、つねならむ。</p>
```

【変更後】

```
<div class="h-indent-2em">
```

```
<p>男：いろはにほへと、ちりぬるを、わかよたれそ、つねならむ。</p>
```

■P.62 / 誤植訂正

「書式一覧」

→ 「■字下げ・インデント」

→ 「突き出しインデント（ぶら下がりインデント）」

【変更前】

```
<div class="start-2em">
```

```
<div class="h-indent-3em">
```

【変更後】

```
<div class="start-2em">
```

```
<div class="h-indent-2em">
```

■P.63 / 誤植訂正

「書式一覧」

→ 「■字下げ・インデント」

→ 「突き出しインデント（ぶら下がりインデント）」

【変更前】

```
<div class="start-2em h-indent-3em">
```

```
<p>男：いろはにほへと、ちりぬるを、わかよたれそ、つねならむ。</p>
```

【変更後】

```
<div class="start-2em h-indent-2em">
<p>男：いろはにほへと、ちりぬるを、わかよたれそ、つねならむ。</p>
```

■P.63 / 誤植訂正

「書式一覧」

→「■字下げ・インデント」

→「突き出しインデント（ぶら下がりインデント）」

【変更前】

```
<div class="p-2em">
<div class="h-indent-3em">
```

【変更後】

```
<div class="p-2em">
<div class="h-indent-2em">
```

CSS機能一覧.xls

■標題 / 変更

【変更前】CSS 機能一覧 (ver.1.1)

【変更後】CSS 機能一覧 (ver.1.1.1)

■「傍線」 / 変更

→「傍線と反対側の線」

→「【縦組み】左線」

【変更後】以下の2行を削除

```
text-underline-position: below left;
-webkit-text-underline-position: below left;
```

サンプルファイルの CSS

■「style-reset.css」 / 変更

→「body」

【変更後】以下の2行を追加

```
-webkit-text-underline-position: under left;
text-underline-position: under left;
```

■「style-standard.css」 / 変更

→「傍線」

【変更前】

```
.vrtl .em-line-outside {
  text-decoration: underline;
  text-underline-position: below left;
  -webkit-text-underline-position: below left;
}
```

【変更後】

```
.vrtl .em-line-outside {
  text-decoration: underline;
}
```

■ 「style-advance.css」 / 変更

→ 「傍線」

【変更前】

```
.hltr .vrtl .em-line-outside {
  text-decoration: underline;
  text-underline-position: below left;
  -webkit-text-underline-position: below left;
}
```

【変更後】

```
.hltr .vrtl .em-line-outside {
  text-decoration: underline;
}
```

 サンプルファイルの XHTML

■ 「book-template.epub」 / 変更

→ 「standard.opf」

【変更前】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2012-01-01T00:00:00Z</meta>

<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>
```

【変更後】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2012-11-01T00:00:00Z</meta>

<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>
```

■ 「ebpaj-sample.epub」 / 変更

→ 「standard.opf」

【変更前】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2012-10-01T00:00:00Z</meta>

<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>
```

【変更後】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2012-11-01T00:00:00Z</meta>

<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>
```

■ 「fixedlayout-template.epub」 / 変更

→ 「standard.opf」

【変更前】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2012-01-01T00:00:00Z</meta>

<!-- Fixed-Layout Documents指定 -->
<meta property="rendition:layout">pre-paginated</meta>
<meta property="rendition:spread">landscape</meta>

<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>
```

【変更後】

```
<!-- 更新日 -->
<meta property="dcterms:modified">2012-11-01T00:00:00Z</meta>

<!-- Fixed-Layout Documents指定 -->
<meta property="rendition:layout">pre-paginated</meta>
<meta property="rendition:spread">landscape</meta>

<!-- etc. -->
<meta property="ebpaj:guide-version">1.1.1</meta>
```

■ 「fixedlayout-template.epub」 / 変更

→ 「standard.opf」

【変更前】

```
<!-- xhtml -->
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-cover" href="xhtml/p-cover.xhtml"
properties="svg" fallback="cover"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-white" href="xhtml/p-white.xhtml"
properties="svg" fallback="i-white"/>
```

```

<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-001" href="xhtml/p-001.xhtml"
properties="svg" fallback="i-001"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-002" href="xhtml/p-002.xhtml"
properties="svg" fallback="i-002"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-003" href="xhtml/p-003.xhtml"
properties="svg" fallback="i-003"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-004" href="xhtml/p-004.xhtml"
properties="svg" fallback="i-004"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-005" href="xhtml/p-005.xhtml"
properties="svg" fallback="i-005"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-colophon" href="xhtml/p-colophon.xhtml"
properties="svg" fallback="i-colophon"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-white2" href="xhtml/p-white2.xhtml"
properties="svg" fallback="i-white"/>

</manifest>

```

【変更後】

```

<!-- xhtml -->
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-cover" href="xhtml/p-cover.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-white" href="xhtml/p-white.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-001" href="xhtml/p-001.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-002" href="xhtml/p-002.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-003" href="xhtml/p-003.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-004" href="xhtml/p-004.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-005" href="xhtml/p-005.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-colophon" href="xhtml/p-colophon.xhtml"
properties="svg"/>
<item media-type="application/xhtml+xml" id="p-white2" href="xhtml/p-white2.xhtml"
properties="svg"/>

</manifest>

```

[2012/10/12 ver.1.1]

ガイド本体

■P.3 / 追加

「このガイドについて」

→「■概要」

【変更後】 固定レイアウト用の記述を追加

■P.5 / 追加

「このガイドについて」

→「■付録について」

【変更前】 「book-template.epub」

【変更後】 「book-template.epub」 および 「fixedlayout-template.epub」

■P.7 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

【変更前】

<dc:description id="ebpaj-guide">ebpaj-guide-1.0</dc:description>

【変更後】

<meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>

※接頭辞の宣言として package 要素内の prefix 属性に「ebpaj: http://www.ebpaj.jp/」を記載

■P.7 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「文書ファイルの基本」

→「META-INF 内の container.xml」

【変更前】

現時点では、OPF ファイルが2つ以上ある例を想定しない

【変更後】

本ガイドでは OPF ファイルが2つ以上ある例を記載しないが、2つ以上の OPF がある場合も、EPUB 3 の仕様に則り適切に処理されるものとする。

■P.8 / 誤植訂正

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■パッケージ文書 (Package Document / OPF ファイル)」

→「spine 要素における指定の遵守」

【変更前】 itemref 要素における「properties」属性の

【変更後】 itemref 要素における「properties」属性の

■P.11 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■文字・テキスト」

→「縦組み時の文字の向き」

【変更前】右90度回転（横転） : `-epub-text-orientation: sideways;`

【変更後】右90度回転（横転） : `-epub-text-orientation: sideways;`

（※ CSS には現仕様本来の「`rotate-right`」と併記しておくこととする）

■P.15 / 追加

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■固定レイアウト」

【変更後】固定レイアウトの項を新規追加

■P.15 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■その他」

→「将来的に優先して EPUB3.0 範囲内で対応することが望まれる値やプロパティ等」

【変更後】以下の2行を削除

- ・1 ページに画像1枚を含み、横長画面で見開き表現を行う単純な Fixed Layout（固定レイアウト）
- ・Fixed Layout における見開き指定時の「`properties="rendition:page-spread-center"`」

■P.17 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■RS による対応を想定する HTML 要素と CSS プロパティ」

→「【HTML】」

→「組込コンテンツ」

【変更前】img要素

【変更後】img要素 / SVG（固定レイアウトにおけるSVGラッピング手法とイメージマップ機能のみ）

■P.18 / 追加

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■RS による対応を想定する HTML 要素と CSS プロパティ」

→「【CSS】」

→「CSS Text Level 3」

【変更後】「`text-underline-position`」を追加

■P.18 / 変更

「リーディングシステムに期待する動作」

→「■本ガイドでは、RS による対応を想定しない HTML 要素と CSS プロパティ」

→「【HTML】」

→「組込コンテンツ」

【変更前】SVG

【変更後】SVG（固定レイアウト用途以外）

■P.22 / 変更

「制作記述の基本項目」

【変更前】なお、ソースの整形ルールについては、

【変更後】なお、ファイル・フォルダ名やソースの整形ルールについては、

■P.22 / 誤植訂正

「制作記述の基本項目」

→「■ファイル仕様」

【変更前】ナビゲーション文書 `<body epub:type="toc" id="toc">`

【変更後】ナビゲーション文書 `<nav epub:type="toc" id="toc">`

■P.22 / 誤植訂正

「制作記述の基本項目」

→「■ファイル仕様」

【変更前】ナビゲーション文書の `<body>` に `epub:type="toc"` が指定されていないと

【変更後】ナビゲーション文書の `<nav>` に `epub:type="toc"` が指定されていないと

■P.26 / 追加

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

【変更後】固定レイアウト型を追加し、「A. リフロー型」「B. 固定レイアウト型」として記載

■P.26 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」

→「■META-INF 内の container.xml」

【変更後】以下の2行を削除

[備考]

・現時点では、OPFファイルが2つ以上ある例を想定しない

■P.28 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」

→「A. リフロー型」

→「■OPF ファイル」

→「[sample code]」

【変更前】

`<package`

```
xmlns="http://www.idpf.org/2007/opf"
version="3.0"
xml:lang="ja"
unique-identifier="unique-id"
>
```

【変更後】

```
<package
xmlns="http://www.idpf.org/2007/opf"
version="3.0"
xml:lang="ja"
unique-identifier="unique-id"
prefix="ebpaj: http://www.ebpaj.jp/"
>
```

■P.28 / 変更

「EPUB 構成ファイルのテンプレート一覧」
→ 「A. リフロー型」
→ 「■OPF ファイル」
→ 「[sample code]」

【変更前】 <dc:description id="ebpaj-guide">ebpaj-guide-1.0</dc:description>

【変更後】 <meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>

■P.76 / 追加

「デフォルト CSS ファイルについて」
→ 「■スタイルシートの構成」

【変更後】 固定レイアウト型を追加し、【リフロー型】 【固定レイアウト型】 として記載

■P.81 / 追加

巻末

【変更後】 「更新履歴」を追加

CSS機能一覧.xls

■標題 / 変更

【変更前】 CSS 機能一覧

【変更後】 CSS 機能一覧 (ver.1.1)

■「縦組み時の文字の向き」 / 追加

→ 「横転（右90度回転）」

【変更後】以下の行を追加

```
-epub-text-orientation: rotate-right;
```

■「傍線」 / 追加

→「傍線と反対側の線」

→「【縦組み】左線」

【変更後】以下の2行を追加

```
text-underline-position: below left;
```

```
-webkit-text-underline-position: below left;
```

サンプルファイルの CSS

■「style-standard.css」 / 変更

→「行揃え」

【変更後】位置揃え用の空白数を調整

■「style-standard.css」 / 変更

→「文字の向き」

【変更前】

```
.sideways {
  -webkit-text-orientation: sideways;
  -epub-text-orientation: sideways;
}
```

【変更後】

```
.sideways {
  -webkit-text-orientation: sideways;
  -epub-text-orientation: rotate-right;
  -epub-text-orientation: sideways;
}
```

■「style-standard.css」 / 変更

→「傍線」

【変更前】

```
/* 傍線
```

```
-----
縦組み時、overline はテキストの右、underline は左であると想定する
```

```
----- */
```

【変更後】※コメント行を削除

```
/* 傍線
```

```
----- */
```

■ 「style-standard.css」 / 変更

→ 「傍線」

【変更前】

```
.vrtl .em-line-outside {
    text-decoration: underline;
}
```

【変更後】

```
.vrtl .em-line-outside {
    text-decoration: underline;
    text-underline-position: below left;
    -webkit-text-underline-position: below left;
}
```

■ 「style-advance.css」 / 変更

→ 「傍線」

【変更前】

```
.hltr .vrtl .em-line-outside {
    text-decoration: underline;
    text-underline-position: below left;
}
```

【変更後】

```
.hltr .vrtl .em-line-outside {
    text-decoration: underline;
    text-underline-position: below left;
    -webkit-text-underline-position: below left;
}
```

サンプルファイルの XHTML

■ 「book-template」 / 変更

→ 「standard.opf」

【変更前】

```
<package
  xmlns="http://www.idpf.org/2007/opf"
  version="3.0"
  xml:lang="ja"
  unique-identifier="unique-id"
>
```

【変更後】

```
<package
```

```

xmlns="http://www.idpf.org/2007/opf"
version="3.0"
xml:lang="ja"
unique-identifier="unique-id"
prefix="ebpaj: http://www.ebpaj.jp/"
>

```

■ 「book-template」 / 変更
→ 「standard.opf」

【変更前】 <dc:description id="ebpaj-guide">ebpaj-guide-1.0</dc:description>

【変更後】 <meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>

■ 「ebpaj-sample.epub」 (作品サンプル「蜘蛛の糸」) / 変更
→ 「standard.opf」

【変更前】
<package
xmlns="http://www.idpf.org/2007/opf"
version="3.0"
xml:lang="ja"
unique-identifier="unique-id"
>

【変更後】
<package
xmlns="http://www.idpf.org/2007/opf"
version="3.0"
xml:lang="ja"
unique-identifier="unique-id"
prefix="ebpaj: http://www.ebpaj.jp/"
>

■ 「ebpaj-sample.epub」 (作品サンプル「蜘蛛の糸」) / 変更
→ 「standard.opf」

【変更前】 <dc:description id="ebpaj-guide">ebpaj-guide-1.0</dc:description>

【変更後】 <meta property="ebpaj:guide-version">1.1</meta>

■ 「ebpaj-sample.epub」 (作品サンプル「蜘蛛の糸」) / 変更
→ 「standard.opf」

【変更前】 <meta property="dcterms:modified">2012-09-01T00:00:00Z</meta>

【変更後】 <meta property="dcterms:modified">2012-10-01T00:00:00Z</meta>

■ 「ebpaj-sample.epub」 (作品サンプル「蜘蛛の糸」) / 誤植訂正
→ 「p-002.xhtml」

→19行目

【変更前】

```
<p>～<span class="sideways">“</span>KUM0 NO ITO<span class="sideways">” <span class="sideways">♡  
</span></span>
```

【変更後】

```
<p>～<span class="sideways">“</span>KUM0 NO ITO<span class="sideways">”</span> <span  
class="sideways">♡</span>
```
